

何度も集まって練習を重ねてきた子ども獅子舞が、お母さん方のしの笛に合わせて、力強い舞を披露



衣装や道具の展示に見入る来場者と踊りを終えた舞師（3月末まで展示しています）



来場者に笑顔でお餅を配る子ども獅子舞さん



太鼓と笛の音に合わせて表現される神楽の世界



世代を超えて集まる担い手。若手舞師が衣装に身を包み、次の世代へと伝統をつなぎます。



舞を支えるのは、しの笛や太鼓の音。会場全体に響き渡ります。



伝統芸能をテーマに学習をする榛東中1年1組のみなさん（お面やお守りも手作りです）



中学生がペットボトルの蓋を溶かして作ったお守りや神楽のイラストなど



常将神社神楽保存会より 再興 100 周年を迎えます —常将神社太々神楽—

常将神社の太々神楽は、明治時代後期に消滅しましたが、氏子等の熱意により現在の神楽殿が建設され、大正15年4月（1926年）に再興を果たしました。

再興100周年となる太々神楽は、4月12日（日）午前9時30分から常将神社の春季例大祭で奉納され、演目では、永らく演じられていなかった「蛭子（ひるこ）の舞」を復活するほか、子ども神楽も披露されます。会場となる境内には、山子田地内の各区親睦会も出店し、お祭りムードを盛り上げますので、多くの皆様のご観覧をお待ちしております。 神楽保存会長 柳岡武夫

特集 新春伝統芸能発表会



新井八幡神社太々神楽講
春のお祭りで奉納されます
（4月中ごろ）



広馬場神楽舞保存会
春のお祭り奉納されます
黒髪山神社（4月はじめ）・聖宮神社（4月中ごろ）



常将神社太々神楽部
春のお祭りで奉納されます
（4月中ごろ）



宿稻荷神社獅子舞保存会
早春のお祭りで奉納されます
（2月はじめ頃）



大宮神社獅子舞保存会
春のお祭りで奉納されます
（4月中ごろ）



南新井獅子舞保存会
秋のお祭りで奉納されます
（10月中ごろ）

※お祭りでの舞の奉納はどなたでも見学できます。